



ガステーブルコンロ

取扱説明書

10-830型

保証書付

型式名 MC-20SUE

本社ガスピルサービスセンター・支社所在地および電話番号

本社 ガスピル
サービスセンター ☎ 541 大阪市東区平野町5丁目1番 大阪 06 (202) 2221
南 支 社 ☎ 557 大阪市西成区玉出東2丁目9番41号 大阪 06 (652) 0001
北 支 社 ☎ 532 大阪市淀川区十三本町3丁目6番35号 大阪 06 (301) 1251
堺 支 社 ☎ 590 堺市住吉橋町2丁2番19号 堺 0722(38) 1131
北 梅 支 社 ☎ 568 高槻市櫻の里町3番9番6号 梅 0726(11) 0361
阪 神 支 社 ☎ 662 西宮市和上町4番111号 西宮 0798(26) 3101
東 阪 支 社 ☎ 573 東大阪市稻葉2丁目3番17号 河内 0729(62) 1131
京 阪 支 社 ☎ 573 枚方市西田宮町16番17号 枚方 0720(41) 1251
神 戸 支 社 ☎ 650 神戸市中央区相生町5丁目13番10号 神戸 078(576) 5231
京 都 支 社 ☎ 604 京都市中京区扇丸御池通屋町368 京都 075(231) 8151
奈 良 支 社 ☎ 631 奈良市学園北2丁目4番1号 奈良 0742(44) 1111
和 歌 山 支 社 ☎ 640 和歌山市本町1丁目1番1号 和歌山 0734(31) 2481
姫 路 支 社 ☎ 670 姫路市姫路町4丁目8番 姫路 0792(85) 2221
東 球 支 社 ☎ 675 加古川市加古川別荘29-1 加古川 0794(21) 1801
豊 岡 支 社 ☎ 668 豊岡市三坂町6丁目57番地 豊岡 0796(23) 2221
湖 南 支 社 ☎ 525 審美市高分町字瓦堀680の1 審美 0775(62) 5311
彦 根 支 社 ☎ 522 彦根市大東町12番11号 彦根 0749(22) 3131
(長) 兵 庫 東 所 ☎ 526 長浜市南吳服町3番4号 長浜 0748(62) 7171

その他当社サービスステーション、およびサービスショップ

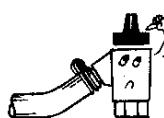
大阪ガス株式会社



ガス器具をお使いになるとのご注意



ガスゴム管も
ときどき点検
よいゴム管を
ガッチリと



ガス器具を
お使いになつた
あとは必ず
ガス元せんも
閉める習慣を



毎日使う
ガスコンロの
バーナーなど器具も
ときどきお手入れを



ガス器具は
ガスの種類にあつた
正しいものを

●ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
なお、ご不明な点があればお買い求めの販売店にお問い合わせください。

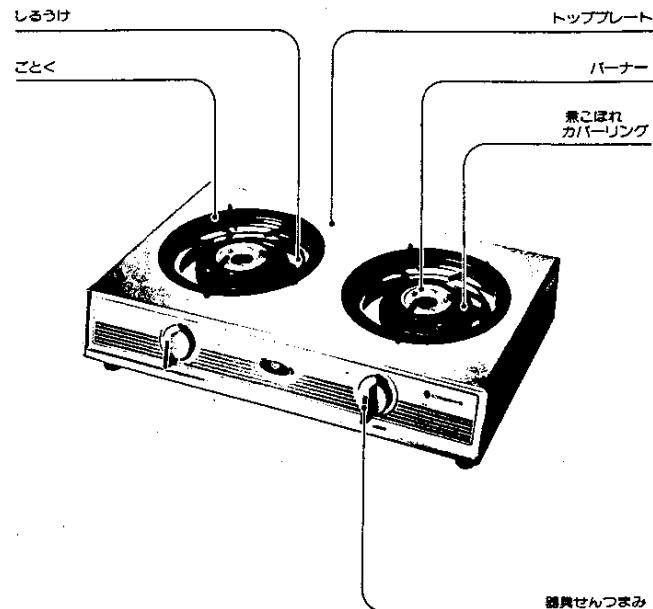
ごあいさつ

このたびは、大阪ガスのガステーブルコンロ
をお求めいただき、ありがとうございました。
別添の保証書とともに、この「取扱説明書」を
大切に保存してください。

もくじ

● 各部の名称	2
● 特に注意していただきたいこと	3
● 器具の設置	9
● 使用手順	12
● 使用時のご注意	14
● 煮こぼれ消火センサーが作動したときの処置方法	15
● 日常の点検・手入れ	16
● 故障・異常の見分け方と修理方法	19
● 長期間使用しない場合	20
● アフターサービスのお申し込み	21
● 特長	21
● 尺寸図と仕様一覧表	22
● 別売部品のご紹介	22

各部の名称



特に注意していただきたいこと

安全に正しくお使いいただきために、この項は必ずお読みください。

使用ガスについてのご注意

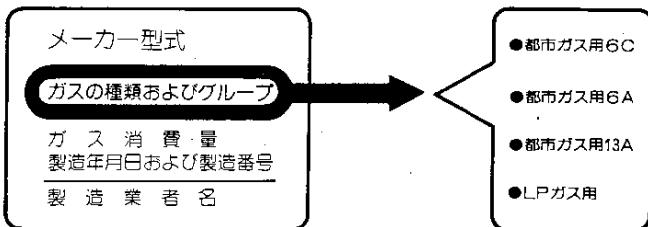
- ガスの種類を確かめてください。

ガス器具本体の右側面にはつてある銘板(ラベル)に表示のガスの種類と、お宅のガスが一致しているかをまず確かめてください。

- ガスの種類には都市ガスとLPGガスとがあり、都市ガスにはガスグループの区分があります。

- 転宅されたときにも、供給ガスの種類と器具銘板のガスの種類の一致を必ず確かめてください。

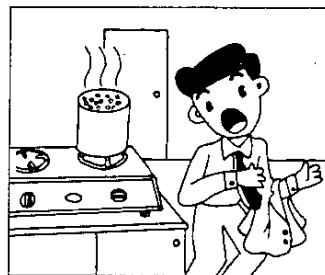
銘板



用途についてのご注意

- 調理以外の用途（炭・練炭あこし・衣類の乾燥など）には使用しないでください。

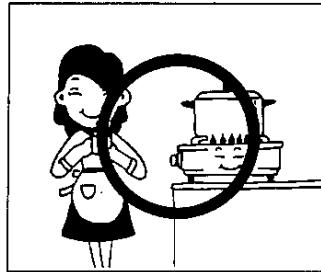
過熱・異常燃焼などによる焼損、火災などの危険があります。



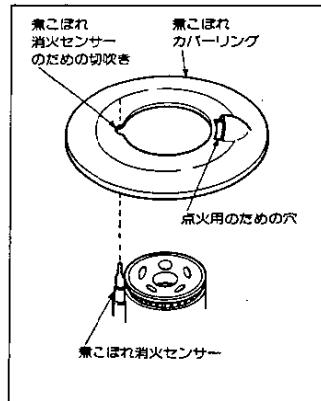
特に注意していただきたいこと②

市販の補助用具使用についてのご注意

- 極端に大きな鉄板やなべ、熱を逃がさないようにするためのなべ枠、または不良の補助用具などで炎をふさいで使うことはさけてください。
不完全燃焼をおこしたり、器具を異常に過熱し危険です。



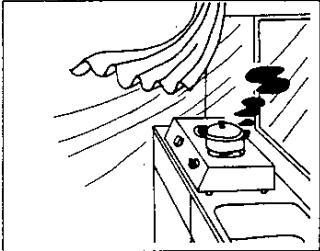
- しる受け部の上に市販のアルミはく製しる受けを敷いてお使いになる場合は、しる受け部に十分にじむようにしてお使いください。
- アルミはく製しる受けの穴は煮こぼれカバーリングの穴より少し大きめにあけてください。
- アルミはく製しる受けを敷いた上から煮こぼれカバーリングを取りつけてください。
- カバーリングの手前側にあいている穴は点火用の穴ですから、アルミはくの端などで絶対にふさがないようにしてください。点火不良の原因になります。



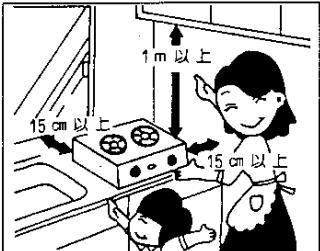
特に注意していただきたいこと③

使用場所についてのご注意

- 強い風の吹き込む所では使用しないでください。
炎が風で吹き消えることがあります。
- 棚の下など、落し物の危険のあるところでは使用しないでください。
- カーテンや、燃えやすいものの近くでは使用しないでください。
燃え移る危険があります。



- テーブルコンロの周囲が木材のような可燃性の壁面の場合は、過熱を防ぐため左右及び後面とともに15cm以上、上方は1m以上離してお使いください。
- 上記の距離がとれない場合は、必ず別売の防熱板を取りつけてください。
- 壁が長期間加熱されると比較的低温でも自然発火することがあります。



使用上のご注意

ガス漏れ予防

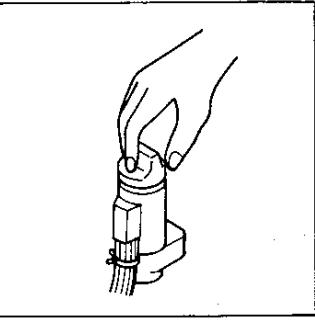
- ゴム管はガス用ゴム管を使用し、ビニール管は絶対に使用しないでください。ビニール管は弾力性がなく、熱にも強くありません。
- ゴム管は良質のものを用い、時々とりかえてください。(おとりかえの目安は約3年です)
ゴム管が古くなりますと、元せんや器具のホースエンドから抜けやすくなったり、ヒビ割れしてガス漏れの原因になり危険です。



特に注意していただきたいこと④

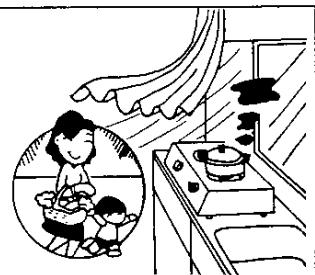
使用上のご注意

- 器具をご使用にならないときや外出前、またおやすみ前には万一の事故がないように、必ず元せんをしめてください。
- 使用中は決して外出しないでください。カラ焚きになるなど思ひぬ事故の原因になります。
- 使用後は必ず器具せんを「止」の位置まで確実にもどし、消火したことを確かめてください。
- 使用中には時どき正常に燃焼していることを確かめてください。



火災予防

- 器具の上やそばに燃えやすいもの（紙、カーテン、家具、揮発油など）を絶対においたり近づけたりしないようにしてください。
- 火をつけたまま就寝、外出は絶対にしないでください。
- 天ぷらなど油料理の場合は、火をつけたまま場所を離れたり、加熱しすぎないようにしてください。
温度が上りすぎると、油が自然発火し、火災の原因となります。



特に注意していただきたいこと⑤

使用上のご注意

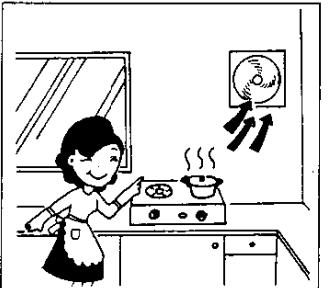
やけどのご注意

- ご使用中および使用直後は、器具本体とその周辺は熱くなりますので、手を触れたりしないでください。特に小さなお子様がいるご家庭はご注意ください。



換気のご注意

- ご使用と一緒に換気扇を回すなど換気にご注意ください。
ガスが正しく燃えるためには、ガスの6~10倍もの空気が必要です。しめきつた部屋で長時間使用すると空気中の酸素が減少し、不完全燃焼による一酸化炭素中毒の危険があります。

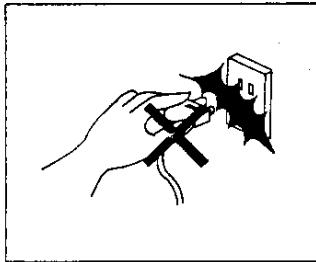


特に注意していただきたいこと⑥

使用上のご注意

ガス事故防止

- ガス漏れに気づいたときは、すぐ使用をやめてガス元せんを閉じ、窓や戸を全部あけて、大阪ガス支社または大阪ガスサービスステーションに連絡してください。



〈ご注意〉

- 万一ガスが漏れたときは、絶対に火をつけたり換気扇その他電気器具にふれたりしないでください。(スイッチの入・切や電源プラグの抜き差し等) 火や火花で引火し爆発事故を起こすことがあります。

異常時の処置

- ご使用中にふだんと違った状態になったときや、不都合が生じたときはそのままお使いにならず、直ちにご使用を中止(器具せん、ガス元せん閉止)して十分な点検をお願いします。
(故障・異常の見分け方と処置方法については19ページをお読みください)

日常の点検・手入れ

- 器具を安全、快適にお使いいただくために、日常の点検、手入れは必ず行なってください。(詳しくは16ページをお読みください)
- 故障又は破損したと思われるものは使用しないでください。不完全な修理は危険です。
- 万一具合が悪くなって処置に困るような場合は、大阪ガスサービスショップまたは大阪ガス支社にご連絡ください。

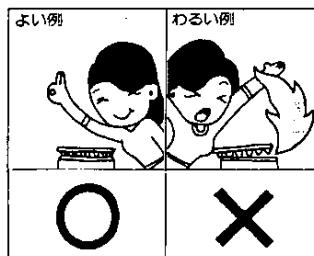
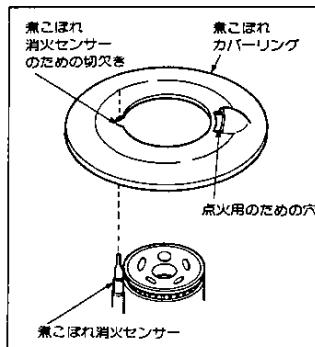
器具の設置

設置前の準備と確認

- 各部分のあて紙や包装部品を取り除き、“各部の名称”のように正しく組立ててください。
- 器具銘板の表示ガス(ガスグループ)とご使用になるガスとが一致しているかご確認ください。

部品の取り付け

- バーナートップはギザギザが下になるようにはめ込んでください。また浮き、傾きのないように2~3回バーナトップを回して確実にはまっているか確認してください。
- 煮こぼれカバーリングは、煮こぼれ消火センサーと煮こぼれカバーリングの切欠きに合い、バーナ本体と浮き、傾きのないよう取り付いていることを確認してください。

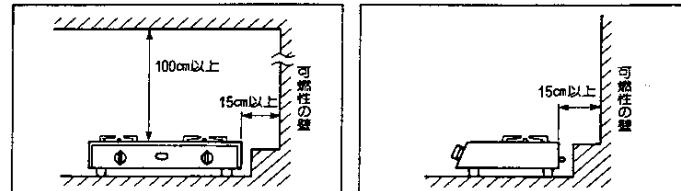


器具の設置②

設置上のご注意

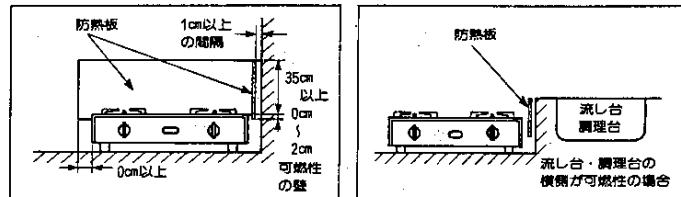
- 丈夫で水平なガス台上に設置してください
- 耐久性などの点からできるだけ湿気の少ないところを選んでください。
- 周囲に可燃物(木製の壁、たななど)のある場合

トッププレートより上の側面及び背面は木製のような可燃性の壁から15cm以上離してください。可燃性の壁にステンレス板などを張ってある場合も同様です。また上部は器体上面から100cm以上離して使用してください。
(火災予防条例で定められています)



可燃性の壁(ステンレス板などを張りつけた可燃性の壁も含む)から15cm以上離して設置できない場合

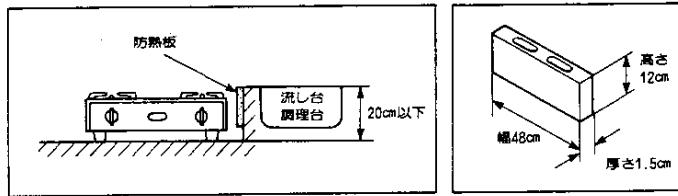
図のように必ず別売の防熱板を取り付けて使用してください。(15-100-0084-8)



調理台・流し台の側面などが可燃物で器具のトッププレートより高い場合も防熱板で調理台や流し台の側面を保護してください。

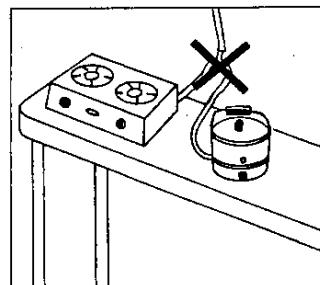
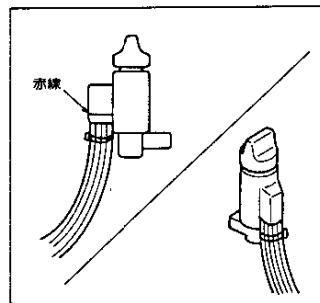
器具の設置③

- ガス台との差が20cm以下の場合は、下図の防熱板を取り付けてください。



ゴム管の接続

- ゴム管は赤線まで差し込んでしっかりととめてください。
9.5mmØのゴム管を使用し、ガスの元せん、器具のホースエンドともゴム管口の赤線まで十分差し込んで、ゴム管止めでしっかりと止めてください。
ゴム管止めでしっかりと止めていないと、知らずにはずれかかってガスもれが生じることがあります。
- ゴム管はガス用ゴム管を用い、折れたりねじれたりしないよう、できるだけ短くし、また器具の下を通したり、器具に触れないようにしてご使用ください。
- ゴム管の継ぎたしおよび二又分岐はないでください。

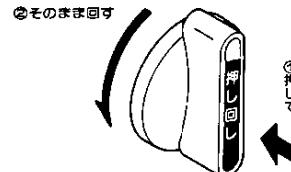


使用手順

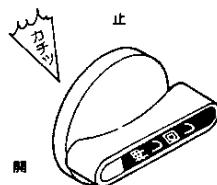
点火前の準備と確認

- 器具の近くに紙、プラスチック、油類など燃えやすいものが置いていないことを確認してください。
- 器具せんつまみが「止」の位置にあることを確認したのち、ガス元せんを全開にしてください。

点火



- ②そのまま回す
③「カチッ」と音がしてバーナに点火



- 器具せんつまみを押しながら左（点火の方向）へゆっくりいっぱいに回してください。

- 「カチッ」と音がしてバーナに点火します。バーナへ火移りしたことを確かめてから数秒間（煮こぼれ消火センサーが働くまで）そのまま押しつづけてください。（途中で手を離すと点火しないことがあります。）

- 器具せんつまみから手を離したときに、火が消えた場合は保持時間の不足です。もう一度同じ操作を繰り返し器具せんつまみの保持時間を前回より長くして器具せんつまみを一旦強く押してからゆっくり手を離してください。

ご注意

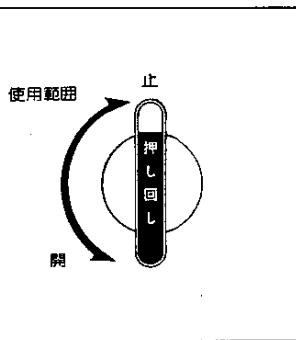
- はじめて点火するときは、ゴム管内に空気が入っていて点火しにくいことがあります。この場合には、空気が抜けるまで数回点火操作を繰り返してください。
- 万一点火しないときは、器具せんつまみを一旦もとに戻して、あらためて点火の操作をしてください。

使用手順②

空気調節

- 空気調節の必要のない構造になっております。点火したらそのままお使いください。

火力調節

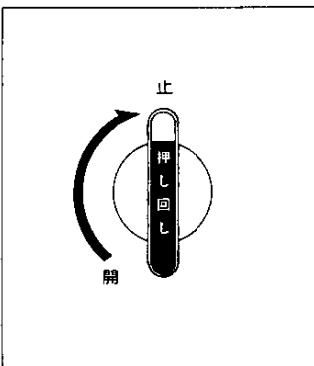


- 器具せんつまみを「止」と「開」の間でゆっくり回して適当な炎に加減してください。

ご注意

- こんろバーナの炎を小さくしすぎると風などで消えることがありますので小さくしすぎないでください。
- 弱火にするときは、ゆっくり調節してください。急に火力調節すると消すことがありますので必ず着火していることを確かめてください。

消火



- 器具せんつまみを押さないで右へいっぽい“止”的位置まで確実にまわして消火してください。

ご注意

- 必ず火が完全に消えたか確認してください。
- 消火後すぐにご使用になる場合は、数秒程まってから点火してください。
- 長時間使用されないときは(就寝時、外出時など)は、器具せんつまみをしめるだけでなく必ずガス元栓を止めしてください。

使用時のご注意

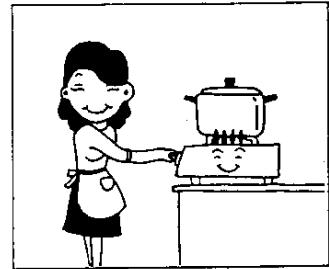
- 煙こぼれはバーナや器具を早くいためますのでご注意ください。(一度煮立つたら沸騰がつづく程度の火力にしてご使用ください) 煙こぼれしたときは、必ず完全にふきとってください。

煙こぼれで炎口がつまるとき炎が逆流して、器具の内部で燃えるおそれがあり危険です。



- 点火の際は、こんろになべややカンをかけて点火し、全部の炎口に点火したことを確かめてください。

- 炎の形や色の変化に気をつけてください。炎が異常に大きかったり、ふぞろいで音をたてたりすることがないようよく見てご使用ください



煮こぼれ消火センサーが作動したときの処置方法



- 使用中バーナが消火したときは、すぐに器具せんつまみを「止」の位置にもどし、19ページの「故障・異常の見分け方と処置方法」及び次の方法により処置してください。

● 処置方法

- ・バーナの火が消えたときは煮こぼれ消火センサーが働いて自動的にガスが止まりますが完全に止まるまでに少し時間がかかります。(30秒～1分程度)
バーナの消火に気づいたときは、すぐに器具せんつまみを「止」の位置にもどし、消火の状態にしてください。
- ・再点火される場合は、周囲にガスがなくなるまでしばらく(数分)待ってから「使用手順」に従って点火してください。

日常の点検・手入れ

点検・手入れの際のご注意

- 点検・手入れについては、下記の日常の点検以外は大阪ガスサービスショップまたは大阪ガス支社に依頼してください。
- 点検で異常を見つけられたときは、大阪ガスサービスショップまたは大阪ガス支社に修理を依頼してください。
- 点検・手入れの前には必ずガス元せんを閉じ、器具が冷えてから行なってください。



点 検

- 安全にあ使いいただくためにときどき点検してください。
 - ・ゴム管はガス用ゴム管を使用し、器具およびガス元せんともホースエンドのゴム管口の赤線まで十分差し込み、ゴム管止めで止めてありますか。
 - ・ゴム管が器具に触れたり、折れたり、ねじれたりしていませんか。
 - ・ゴム管が古くなつてひび割れしたり、差し込み口がゆるんでいるためガスがもれていないか、ときどき石けん水などで点検してください。
 - ・器具の近くに紙、プラスチック、油類など燃えやすいものをおいてはいませんか。
 - ・バーナートップ、ごとく、煮こぼれカバーリング、しる受けなどが正しくセットされていますか。
 - ・バーナートップの炎口が煮こぼれなどで詰つていませんか。
 - ・煮こぼれ消火センサーが煮こぼれなどで汚れたり、ぬれたりしていませんか。

日常の点検・手入れ②

お手入れ

- ごとく、煮こぼれカバーリング、トッププレート、器体
・そのつどお手入していただくのがいちばんです。
煮こぼれなどの汚れは湿った布でふきとつてください。
液状の洗剤を布にふくませて汚れを落としたり（トッププレート・
器体の場合）、洗剤をふくませたナイロンたわしで洗っていただき
(トッププレート・器体を除く場合)、お手入後はよくしぼった布で
洗剤や水気を十分ふきとつてください。

〈ご注意〉

- お手入れのとき、器体内部機構に水がかかるないようにご注意く
ださい。

そ
の
つ
ど

日常の点検・手入れ③

- バーナ(こんろ用)
・バーナトップをとりはずしブ
ラシやキリ状のもので掃除し
てください。

目づまりなどで悪くなつたバ
ーナは、取り替えていつもき
れいな状態で使用してくださ
い。

バーナを目づまりさせたま
ま使用しますと、不完全燃焼を
おこすことがあります。



と
き
ど
き

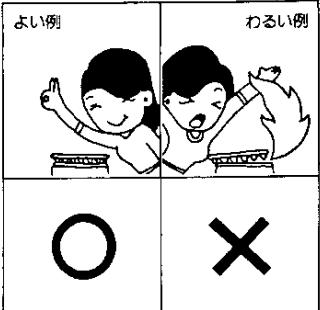
〈ご注意〉

- バーナトップの水洗いはで
きるだけさけ、水洗いされ
た場合は必ず乾いた布で十
分水気をとつておいてくだ
さい。

- バーナ本体の水洗いはやめ
てください。

中がさびる原因になります。

- バーナトップを取りはずさ
れた場合は正しくセットし
てください。(詳しくは9ペ
ージ部品の取り付けの項を
お読みください。)



- 煮こぼれ消火センサーは固いブラシなどでみがかないでください。故
障の原因になります。また煮こぼれなどはすぐふき取るように習慣づ
けてください。

性能が十分発揮できないだけでなく、寿命も縮みます。

- 点火操作の火花の出る部分はさわらないでください。取付位置が狂い
ますと点火しなくなります。また火花の出る先端に手をふれたまま部
具せんつまみを操作しますと電気ショックを受けますからご注意くだ
さい。(ただし人体には害はありません)

- 器具内の配線にはさわらないでください。

故障・異常の見分け方と処置方法

ご使用中にふだんと違った状態になったときや、不都合が生じたときは、そのままお使いにならず、直ちにご使用を中止して十分な点検をお願いします。

原 因	現 象						参 照 ペ ジ
	器具せんつまみから手を離すと消火する	点火(火移り)しない、点火しづらい	着火(火移り)しづらい	黄炎で燃える	炎が安定しない	異常な音をたてて燃える	
ガス元せんの開け忘れ、開き不十分	○ ○	○ ○	○ ○	器具せんを一日閉じてからお部屋のガス元せんを全開にする	12		
ゴム管内に空気が残っている	○			ガスが正常に出るまで十分注意しながら点火操作を繰り返す	12		
ゴム管の折れ曲がり・つぶれ	○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	ゴム管の折れ、曲がりを直す	11		
点火装置の電極部の汚れ	○			汚れを拭きとる、それでも直らないときは点検を依頼する			
バーナ炎口つまり、空気口つまり	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	つまりを取り除く、それでも直らないときは点検を依頼する	18		
バーナの取り付け不良	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	正しく取り付ける、それでも直らないときは点検を依頼する			
バーナトップの取り付け不良	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	正しく取り付ける	9		
点火操作が適切でない	○			「使用手順(点火)」参照	12		
点火装置のリード線の接続不良	○			点検を依頼する			
点火装置の故障	○			点検・修理・部品交換を依頼する			
器具鋸板と使用ガスが不一致	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	点検・修理を依頼する	3		
煮こぼれ消火センサーが作動	○			○ 「使用手順(点火)」参照	12		
煮こぼれ消火センサーの故障	○			○ 点検を依頼する			
器具せんの故障	○			○ 点検を依頼する			

処置方法や原因のわからないときは、お買い求めの販売店または大阪ガス支社へご連絡ください。

長期間使用しない場合

- 各部の汚れを取り除き、十分に乾燥したのちほこりなどの異物が入らないようビニールをかけて、お求めになったときの箱に入れ、湿気やほこりの少ないところへ保管してください。特にガスの通路部分（ホースエンドなど）にはほこりが入って透路をつまらせないように注意してください。

アフターサービスのお申し込み

サービスのお申し込み

- 19ページ「故障・異常の見分け方と処置方法」の項を見て、もう一度ご確認下さい。

- 確認のうえ、それでも不具合な場合、あるいはご不明な場合はご自分で修理なさらないでお買い求めの販売店、またはもよりの大坂ガス支社にご連絡ください。なお、ご連絡いただくときは、次のことをお知らせください。

- (1) 品 名…… (テーブルコンロ)
- (2) 品 番…… 左側面に添付しております。

(例)

(N)10-830(U)

大阪ガス株式会社 〇〇

転居される場合

- ガスには都市ガス14種類およびLPGガスの区分があります。ガスの種類が異なる地域へ転居される場合は、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類を確認のうえ、お買い求めの販売店またはもよりの大坂ガス支社にご相談ください。この場合調整・改造を要する費用は保証期間内でも有料となります。

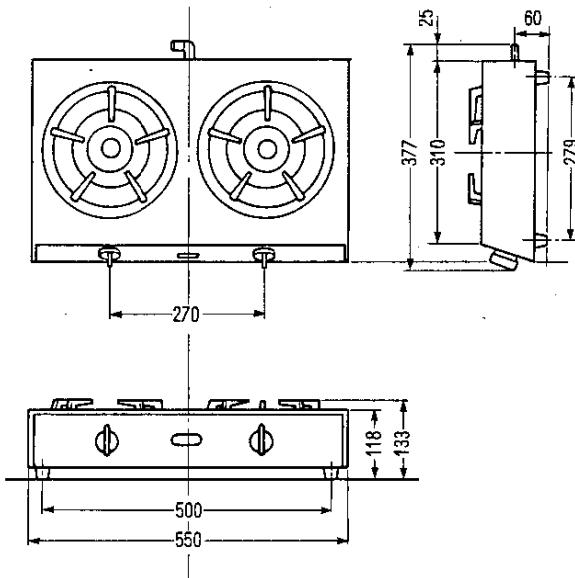
保証書について

- この器具には保証書がついています。このテーブルコンロは保証書に記載のように、器具の故障について修理いたします。詳しくは保証書をごらんください。保証書を紛失されますと、無料修理期間であっても修理費をいただることがありますので、この取扱説明書とともに大切に保管してください。

特長

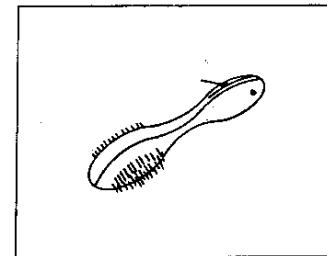
- 1** 煮こぼれ消火センサー付きですので、煮こぼれや風などでバーナーの火が消えたときは、ガスを自動的に止めます。火が消えてから自動的にガスが止まるまでに30秒～1分程度かかります。
- 2** 煮こぼれカバーリング付きですので、バーナーとしての受けの間から煮汁が落ち込みにくくお手入れも簡単です。
- 3** トッププレートと側板はステンレスの一体仕上げ、前板もステンレスですので、美観に富み、耐久性も高く、清潔感があります。

寸法図と仕様一覧表



器種名	ニロコンロ		
品名	10-830		
点火方式	圧電式点火		
外形寸法	高さ133mm×巾550mm×奥行377mm		
重量(器具)	6.0kg		
使用ガス	1時間当たりのガス消費量		
使用ガスグループ	個別ガス消費量		ガス接続
	こんろ(左)	こんろ(右)	
都市ガス用	6C (kcal/h)	2,300	4,500
	13A (kcal/h)	2,300	4,500

別売部品のご紹介



- 掃除ブラシ(4)94-100
- バーナーが目づりしたときに掃除していただくと安定期の燃焼が得られ、効率よく安心して使っていただけます。

おねがい

ガスくさいときはお部屋の元せんを閉め、窓を全開にしてから（火気注意して）大阪ガス支社・サービスステーションにご連絡ください。